

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から

令和5年9月
敦賀市立敦賀南小学校

学力調査から見える南の子の強み・弱み

全体として

国語・算数ともに全ての内容・領域で正答率が県・全国平均を上回る。

特に良好!

・記述式の設定問 →ポイントを押さえて書く力

・「思考・判断・表現」の観点

→問題発見・解決のプロセスの中で必要とされる力



【国語】

複数の資料を比較・関連付け
検討できる!

自分の考えをまとめること

- ◎文章を読んで理解したことに基づいて考えを書く。 →
- ◎目的や意図に応じ内容を捉え、話し手の考えと比較しながら書く。

書き表し方を工夫すること

△図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるよう書き表し方を工夫する。

- ☆さまざまな資料から1つの資料しか取り上げていない。
- 自分の考えをわかりやすく伝える手段の1つとして文章や図表、グラフを生かすとよいことが実感できるようにする。

【資料3】 相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き
規則正しく食事をするにより、脳が元気に活動したりすることができます。ただし、同じもの好きなものばかり食べていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいらしたりします。
食品は、栄養素の主な働きによって、下のよう、主に三つのグループに分けることができます。
米やパンなどは、主にエネルギーの働きになります。
肉や卵などは、主に体をつくるものになります。
筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。
野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気がかかりにくくなります。
〈栄養素の主な働きと食品の例〉
主にエネルギーのものになる
米、パン、バターなど
主に体をつくるものになる
肉、卵、牛乳など
主に体の調子を整えるものになる

3つの資料を読み、わかったことをもとに自分ができそうなことを書く。

【算数】

変化と関係

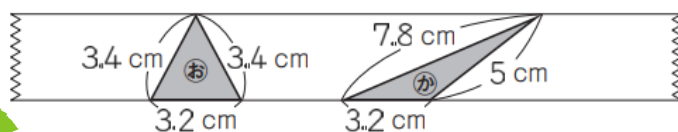
昨年度の正答率と比べ『変化と関係』は大幅UP!

◎ともなって変わる2つの数量の関係(比例・割合など)を理解し、問題解決に生かす。

図形の構成の仕方を観察し、判断すること

- ・図形の意味や性質について理解する。(◎台形・正方形 △三角形)
- △理解したことを使って面積の大小を判断する。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような①と②の2つの三角形をつくります。



どちらが大きい?

2つの三角形の面積は?

等しい?

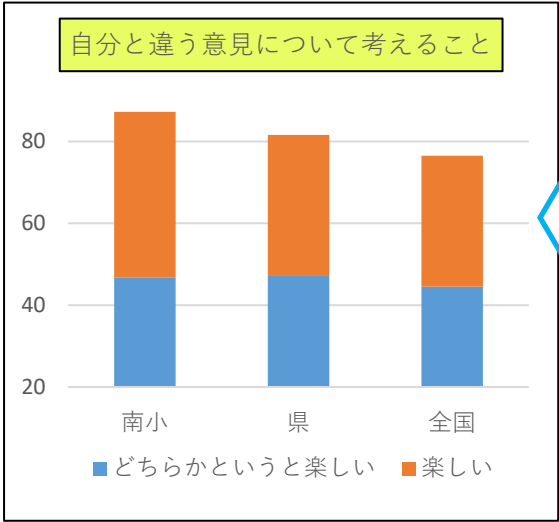
比べられない?

【正解】等しい

「このままでは比べることができない」とする児童が多い。明示されていない『高さ』を見つけないことができない。

→理解したことを生かし、問題を解決するときに必要な情報を主体的に見いだしたり、工夫したりして考える活動を取り入れる。

【 児童質問紙から見える南の子 】

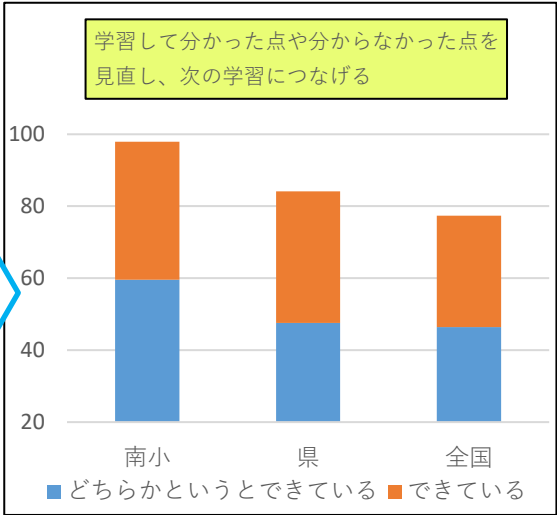


様々な意見があつてこそ！

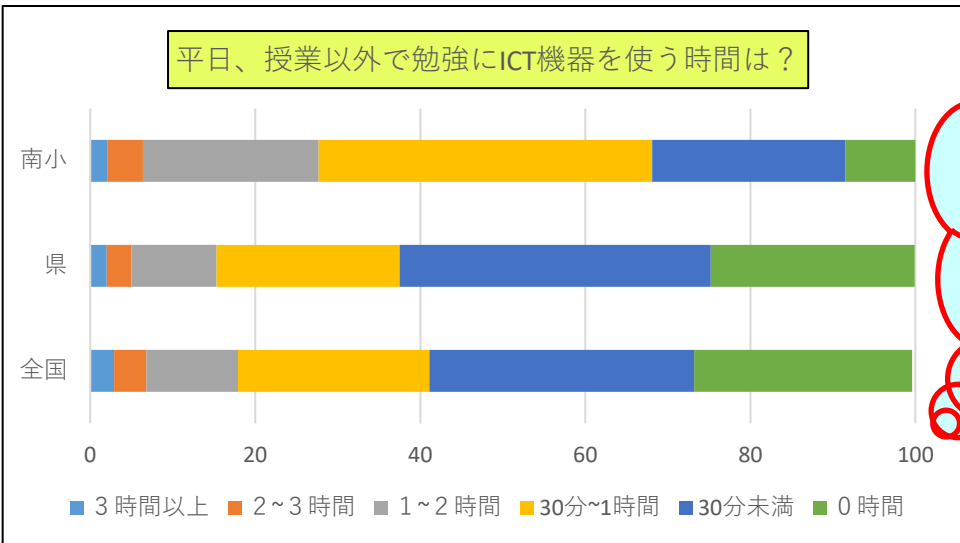
授業では、全体の話し合いだけでなく、タブレットの機能を活用して友達の意見を知ったり、自分の考えを伝え合ったりしています。違う意見があつてこそ「おもしろい」「自分の考えが深められる」。そんな経験は、生活の様々な場面でも生かされています。

自らの学びを次へと！

学習したことを自分なりに振り返ることは、次の学びにつながるだけでなく、見直しをもつことにもつながります。「学習することは大切である」「社会に出たときに役立つ」と感じる南の子だからこそ、『次』を見据えているのでしょうね。



タブレット等の活用は 家庭でも！ 学校でも！



平日に30分以上使用している割合が、県や全国に比べ大変多いことがわかります。南の子にとってタブレットの活用は「当たり前」になってきていますね。

学校でタブレットを使うのはもちろん、家庭でも勉強に使っている児童が多いことがわかります。子どもたちの活用力、そしてお家の方のご協力に感謝します。ICT機器の活用能力は、これからの子どもたちが、いかに豊かに生きていくのかにも関わってきます。タブレットの使用に関しては、健康面や使用時間等について、ご心配な点もあるかと思いますが、ともに考えていきましょう。